

小規模多機能型居宅介護 サービス評価
【令和 3 年度】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（別紙 2 - 2）事-①～⑨

小規模多機能ホーム 百佑
〒 899-3306
鹿児島県日置市吹上町小野 1478 番地
TEL 099-245-1580
FAX 099-245-1581

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4年 3月 21日 (月)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下 下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈) 地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	2人	人	14人

前回の改善計画	職員や家族構成によって家族との接点が少ない事もあるので、関わりをもった職員が、他の職員とも内容を共有していけるように、今後も申し送り等を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご家族、その他の関係者から知り得た情報は、必ず申し送りに記載したり、朝のミーティングで申し送りをするようにし、職員間で情報を共有する事できた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	8			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	9			14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	7			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	9			14

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎等で家族と関わり、ご家族から知り得た情報は共有できた。 ・ミーティングや申し送りノートを活用して共有はできた。 ・利用者様一人一人に思いやりを持ち寄り添って対応する事を常に心がけて接することができた。 ・初めての利用者様が不安にならないように職員同士で利用前から情報を共有できる時間を設けた。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に追われて、申し送りノートを見ることをしない事があった。 ・勤務も浅く、申し送りノートや書類に目を通す事が習慣化できていない ・職員自身の思いが利用者様に伝える事ができなかった
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が利用する時に不安にならないように、利用者様の情報を早めに職員全員に周知するようにする ・初めての利用者様宅が事前にわかるように自宅確認をする時間を設ける。 ・送迎の時に話しができるご家族は信頼関係を築くことはできるが、県外に居住しているご家族は状況がわからず不安になるので、こまめに連絡を取り、信頼関係を築くようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 令和 4年 3月 21日 (月)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下
下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈)
地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	5人	4人	人	14人

前回の改善計画
計画確認のほか、職員間でも声をかけあいながら確認が行っていきけるようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
介護保険更新の利用者様、新規利用者様の意向、課題、目標等月1回のミーティングで取り上げ、職員間で話し合いをし、利用者様の目標を確認するように努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	7	4		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	6	3		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	5	5		14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	7	2	1	14

できている点
・申し送りやミーティングでの確認が行えている
・支援の際は様々なリスクもあるので、それを想定した支援が行えるよう努めている
・スタッフ同士でも相談しあい、意見を出し合ってアドバイスをもらっている

できていない点
・ミーティングに参加できていない
・担当利用者がまだいないため
・利用者様自身が伝えても理解できないため

次回までの具体的な改善計画
・計画書に全員が目を通し、一人一人の目標を理解し、その目標を達成するため、職員の声かけ、支援内容を統一して一緒に取り組むようにする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 令和 4年 3月 21日 (月)

3. 日常生活の支援

メンバー 上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下
下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈)
地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	6人	2人	人	14人

前回の改善計画
日頃からご利用者やご家族との関わり合いを持って、変化等に早く気付いて即時の対応が行えるようにしていく。また職員間の共有をしっかりと行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者の言動に気をつけ、異変に気付いた時は、職員間で検討し対応できた。在宅での変化にもご家族から情報をもらい対応ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	7	4	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	5			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	10		1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	6			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	9			14

できている点
・積極的に行動し、分からない事は他の職員から聞き取り、取り組む事が出来た。
・一人一人の利用者様の状況に合わせた介護ができた。
・利用者、ご家族の関わる中で、変化や情報を得、対応が行えた。
・顔色や体調の具合を見ながら、「大丈夫ですか」「気分はどうですか」等、声かけができた

できていない点
・利用者によっては、生活環境が把握できていない利用者がある
・利用者に声をかけるときに発言に自信がない
・コロナ禍のため、家族との関わりが減少し情報が少なくなった

次回までの具体的な改善計画
本人、ご家族から幼少期のことや趣味、仕事の事を聞いて、職員間で情報を共有していく。
体調の変化や身体機能の変化を随時、職員間で把握し、その時の状況を瞬時に対応できるように、技術面を向上させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 令和 4年 3月 21日 (月)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下
下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈)
地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	3人	4人	14人

前回の改善計画	ご利用者それぞれの生活スタイルをお維持していけるように一人一人を理解していく。 地域の方との関わりを持って、地域への参加を行っていけるように支援していく
前回の改善計画に対する取組み結果	配食サービスの業者と連絡を取り、支援がスムーズに行えるように情報を共有できた。 認知症の利用者様については、地域住民と協力し見守る事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	2	4	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	7	3	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	7	2	4	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	7	4	14

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 在宅生活を継続できるように、市役所・包括支援センター・地域住民と相談、連携を取りながら支援ができた 利用者様の自宅での様子をご家族から聞き取り職員間で情報を共有できた。 地域との関わりや、自宅での様子を申し送りノートに記載するようにした。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 地域との関わる機会が少ないため、地域の方と連携して支援はできていない 利用者様との会話の中で、ご本人の生活スタイル・人間関係を聞き取りたいが、プライバシーを尊厳するため、限度があり聞き取れない事もある。 コロナ禍の為、地域との関わりが少なくなってきた。 自分から本人・ご家族に積極的に接する事ができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	コロナ禍で地域の方やご家族の方との関わる機会が減少してきたが、ここでの利用時の様子や、レクリエーションの一環として行っている行事等の様子を写真などに残し、事業所全体をアピールし地域と関わっていく
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 令和 4年 3月 21日 (月)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下
下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈)
地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	6人	2人	2人	14人

前回の改善計画
ご利用者それぞれの住まいの社会資源の把握が行えていない部分があるので、そちらに力を入れていく。また仕入れた情報は、職員全体で共有できるように伝達し、活用できるようにしていく。状況に応じた支援はこれまで通りに適時把握して、対応を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者様一人一人の地域資源が理解できていないため、なかなか社会資源は活用できなかった。利用者様の状況に合わせての支援は対応ができた。特に緊急の宿泊サービスは対応ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	5	3	2	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	4		2	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	5		2	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	5		2	14

できている点
・本人の状態に合わせて柔軟な支援はできた。 ・社会資源 (人・物・金) を含む援助は活用できる時は実施ができた ・コロナ禍で支援が困難な事もあったが、職員で協力してできた事もあった。 ・家族の状況に合わせて、連泊等は対応ができた。

できていない点
・地域の資源が把握できていない ・コロナ感染拡大防止のため、外部との関わりが減少された。 ・職員間で共有できていない事があった。

次回までの具体的な改善計画
地域別に区分すると4ヶ所あるので、それぞれの地域資源を調べ、職員全員が把握できるように、図や表を作成する。 小規模多機能居宅事業所とはどのようなサービス事業所であるのか、職員全員が説明できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 3月 21日 (月)

6. 連携・協働

メンバー 上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下
下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈)
地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	1人	5人	4人	14人

前回の改善計画
担当者会議や地域活動など、様々な職員が参加できるような体制を整えていく。
参加できなかった職員も内容を把握できるように伝達をしっかりと行っていく。
色々な人が立ち寄りやすい環境づくりを今後もこころがけていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
業務に追われながらも、担当者会議には参加ができるようになった。担当者会議で開催した内容は月1回のミーティングでほかの職員には伝達を行なった。
コロナ感染拡大防止を配慮してその他サービス機関との関わりは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	4	2	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	3	8	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	3		4	7	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	3	11	14

できている点
・研修等に参加できない時は、研修記録やミーティング等の記録を見て把握している。
・担当者会議に出席はできていないがミーティング時で情報を聞き、話し合いの時間ができている
・地域のイベント、消防活動にコロナ感染拡大防止を徹底し、可能な限り参加はできた。

できていない点
・コロナ感染拡大防止のため、研修等開催がなかった。
・業務が忙しくて、担当者会議に出席ができない事もあった。

次回までの具体的な改善計画
コロナ感染拡大防止を徹底し、地域のイベント等に参加ができるときは、少人数で参加していく。
外部からの訪問が可能になった時は、入りやすい場所になるように環境を整えている。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 3月 21日 (月)

7. 運営

メンバー 上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下
下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈)
地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	2人	2人	14人

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
よりよい運営を行っていけるよう、小さな意見も取り入れ、職員全体で考えて行動ができるようにしていく。色々な地域との協働活動が行えるように努力していく。	些細な事も苦情として取り上げ、職員間で話し合い、再防止策等意見を出し合う事が出来た。地域との関わりは少なく、地域からの苦情は聞き入れはできなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	6	1	3	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	6	1	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6		5	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	6		7	14

できている点
・職員間で話し合いができ、苦情を減らすように努力はできた。 ・職員の意見、ご家族の意見を取り入れ、情報を職員間で共有し反映できるように行動はとれた。

できていない点
・コロナ感染拡大防止のため、地域との交流ができず、意見を聞くことができていない。 ・業務についてまだ経験不足な為、意見を言うことができなかった。 ・わからない事を相談する勇気がなく、そのままにする事があった。

次回までの具体的な改善計画
なんでも話し合える環境を作り、発言の少ない職員には発言できるように前もって、話し合う内容を伝えておく。 送迎時間を活用し、ご家族に意見等を言いやすいように関係性を築いていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 3月 21日 (月)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下
下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈)
地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	3人	14人

前回の改善計画

研修や会議に参加する事ができるように勤務の体制を整えていく。
リスクマネジメントに引き続き取り組み、事故防止に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員研修は毎月1回 Zoom で研修を実施し、それに参加できなかった職員は資料を提供し研修内容を確認してもらった。
外部研修は日程を予定していたが、コロナ感染拡大の防止のため、延期や中止になる事が多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	3	3	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	4	8	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	3	9	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	2	4	14

できている点

- ・職場内の研修は月1回 zoom にて開催があるので参加できている。
- ・職場内の研修に参加ができていない時は、資料やミーティング記録を見て内容を確認している。
- ・利用者様一人一人のリスクを検討し、対応している。

できていない点

- ・コロナ感染拡大防止のため、スキルアップ等の研修が開催されていなかった。
- ・変則な勤務体制の為、研修やミーティングに参加できなかった。
- ・限られた人数の研修が多くなっていた。

次回までの具体的な改善計画

勤務形態を考慮し、研修、ミーティングの参加を隔たりなくしていく。また、法人内の研修内容を職員のスキルアップにつながるような題材になるように提案する。
一人一人の利用者様の身体状況も歳を重ね変化しているので、その都度、身体状況を把握し、利用者それぞれのリスクを取り上げ職員間で共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 3月 21日 (月)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上口、椿、道添、下水流、有村、谷口、作下
下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (奈)
地頭所 (梨)、鳩野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9人	4人	人	1人	14人

前回の改善計画	<p>継続して、身体拘束・虐待・個人情報漏洩については委員会にて検討をして、防止に繋げていく。 また、個々に状況に応じて必要な支援制度などあれば適時対応をしていくようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>身体拘束・虐待については研修が開催され、職員全員で「0」を目標に取り組めた。 成年後見人制度等、制度的な事については、勉強会を開催する事ができなかった。 また、研修が開催されても、業務の調整ができずに参加する機会が設けられなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	1			14
②	虐待は行われていない	14				14
③	プライバシーが守られている	13	1			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	3	2		12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	2	1		14

できている点	<p>身体拘束・虐待については法人内の研修で年4回実施できている。 職員間で疑問の思った行為は身体拘束、虐待に当たらないか常に話し合いができている。 利用者様に対し、同性職員がなるべく介護するように努めている。 個人情報については必要時に応じて説明を行い、同意書に同意をもらっている。</p>
--------	--

できていない点	<p>成年後見制度がわからない職員が2人いて回答もなかった。 言葉使いに気を使いながら、利用者様と接するようにしているが、業務に追われていると、言葉が荒くなっていることがある。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>引き続き、研修や勉強会を開催し、職員の質の向上に勤める。 成年後見制度や介護保険制度など、知識不足や経験不足の職員に理解できるように資料を提供し、勉強会を開催する。</p>
---------------	---

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	3		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	3		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	2		1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見
事業所評価を職員全員で取り組んでいる事がわかった。
業務が忙しく、話し合いが十分できない事もあったようだ。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見
情報等、職員全員で共有できるように工夫されていた。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見
・それぞれの改善計画があったが、コロナ禍の影響で実施できない事が多かった。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・職員の意見が多くなっていた。
- ・発語の少ない職員に対して、意見を言いやすい雰囲気ができている。

【改善計画】※後日記入

働きやすい職場を継続するために、職員間で意見を言いやすい環境にしていく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	1		2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？		1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・コロナ感染拡大防止のため、事業所訪問ができず、事業所の事は把握できない。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・コロナ感染拡大を防止のため、徹底して消毒やマスクの装着をするように声かけができています。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・コロナの影響で、訪問ができないが、地域の住民からは苦情は聞かない。
- ・施設の前を車で通過する時があるが、整備されていると思う。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・コロナ感染拡大防止対策の消毒、換気を徹底し、自由に出入りができるようになることを目標にする。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	職員はあいさつできていますか？	3		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	2		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・挨拶は良くできている。
- ・地域の行事やイベント等に参加する事は困難になった。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・コロナ禍で事業所の情報等、なかなか発信することができないため、ご家族や地域の方、一部にはここでの様子がわかるように文章にしたり、写真を掲示し配布した。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・早くコロナが収束して以前のような生活に戻るといいですね。
- ・地域の行事も開催できないので、地域住民も活気がないです。

【改善計画】※後日記入

- ・地域とのつながりは必要なので、数少ない行事やイベントには参加する。または、参加が困難の時は、地域の観光地や特徴ある場所に利用者様と出かける。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2	1	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	1	1
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	1	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・コロナ禍の為、外出ができなくなり、イベント等開催できなかった。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・地域の行事やイベントも開催できていない。
- ・コロナ感染拡大防止を徹底し、縮小したイベントや行事を開催できるように工夫はした。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・地域の方で、介護保険のサービスを利用したほうがいいかなと思った時にどこに相談したらいいか悩む事もあります。

【改善計画】※後日記入

- ・コロナ禍で地域の方やご家族の方との関わる機会が減少してきたが、ここでの利用時の様子や、レクリエーションの一環として行っている行事等の様子を写真などに残し、事業所全体をアピールし地域と関わっていく

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・年4回開催されているが本年度は2回開催され、2回はコロナ感染が拡大した為、書面で報告されていた。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・2回開催された時は、意見が言いやすい雰囲気であった。
- ・書面で目を通すより、開催されて、直接報告してくれた方が状況がわかりやすい。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議とはどんなものかがやっとわかってきた。
- ・難しく考えず、座談会的な雰囲気でもよかった。

【改善計画】※後日記入

・年4回運営推進会議を開催できるように、1m以上の間隔、マスクの装着、換気等をする。また同じ部屋で開催できない時に書面以外で対応できないか対策を考える。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3		1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加していますか？	2		1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	2	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災訓練の報告を聞いて、年々、入居者、利用者様の歩行状態等が悪くなり、訓練が難しくなっている事が良く分かった。

【前回の改善計画に対して意見】

- ・防災訓練を津波がきた設定で実施した事の報告を受けた
- ・車いす、歩行の不安定な利用者様を誘導するのは難しいだろうと思った。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・津波があった時、自分たちもどこに避難したらいいか、混乱すると思う。
- ・防災グッズの必要性がわかった。

【改善計画】※後日記入

- ・地域で防災訓練を実施する時に、ここが避難所あることを地域住民に知ってもらう。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人誠心会	代表者	前原 くるみ	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で安心して暮らしていけるように、地域の力をつなぎ、「あったか地域で、あったか交流、みんなでつくろうあったかの輪」を作り上げ、利用者個々が尊厳のある暮らしが送れるように支援する。 ・事業所特有の理念「思いや願いを安心に変え、笑顔の輪を広げます」を元に、職員全体が同じ意識で取り組んでいきます。
事業所名	小規模多機能ホーム百佑	管理者	下原 称子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	人	人	2人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も、職員全員で取り組んでいく。新入職員等は他の職員と一緒に取り組んで内容を理解したうえで行えるように説明も踏まえて行っていく。	情報等職員全員で共有できるように工夫した。	ミーティングや朝の朝礼など、よく話し合いをしている。	働きやすい職場を継続するために、職員間で意見を言いやすい環境にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症拡大等もあり、今年度は外部の方の来所はほぼ見られなかったが、日頃より環境整備は心がけており、今後もまた、それを継続していく	コロナ感染拡大を防止するため、徹底して消毒やマスクの装着を心がけている。	コロナ禍で事業所に立ち入りができないが、地域住民からの苦情はない。	今以上にコロナ感染拡大を防止するため消毒、換気を行っていく。
C. 事業所と地域のcかかわり	あいさつなどを通じて相談しやすい環境作りを今後も行っていく。地域の行事等の案内はいつもいただいているので、可能な状況であればこれからも参加していく。	コロナ禍で情報をなかなか発信する事ができなくなったが、ご家族や地域の方にここでの様子がわかるように写真等を掲示し配布した。	以前のようにコロナが落ち着き、交流ができるようになればいい。	地域とのつながりは必要なので、数少ないイベントに積極的に参加する。または地域の特徴のある場所や観光地に利用者を連れていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今年度は行事や活動への参加が行えない状況であった。可能な限りさまざまな活動へ参加できるよう、今後も情報収集を行っていく。	コロナ感染拡大の為、イベント等参加ができなかった。	地域の方が介護保険を利用したい時にどこに相談していいかわからないので、介護保険の仕組みを知りたい	コロナ禍で地域の方やご家族の方との関わる機会が減少してきたが、ここでの利用時の様子や、レクリエーションの一環として行っている行事等の様子を写真などに残し、事業所全体をアピールし地域と関わっていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今年度は感染症等もあり、ほとんどが書面での開催となったが、直接的でなくとも、書面や電話など、様々な手段を通じて、今後もつながりを持っていく。	運営推進会議を開催した時は地域の方やご家族の方が発言がしやすい雰囲気であった。	運営推進会議とはどんなことをするのかやっとわかってきた。	年 4 回運営推進会議を開催できるように、1 m 以上の間隔、マスクの装着、換気等をする。また同じ部屋で開催できない時に書面以外で対応できないか対策を考える。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練を行った場合は、運営推進会議等を通じて内容報告等を行っているが今後も継続していく。	防災訓練は実施しているが、車椅子、歩行が不安定な利用者の誘導が年々困難になってきている。	震災が実際あったら、自分たちも混乱してしまうと思うので、訓練を繰り返すことが大事だと思った。	地域で防災訓練を実施する時に、ここが避難所あることを地域住民に知ってもらう。

